

# 日本福祉介護情報学会ニュース

2007年度第1号

2007年7月20日

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissi.jp>）

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 [jissi-mail@e-wel.ne.jp](mailto:jissi-mail@e-wel.ne.jp)

## 【目次】

1.	第8回研究大会のご案内	1
2.	紀要第3号・第4号について	2
3.	学会ホームページ	2
4.	2007年度事業計画・予算	3
5.	事務局から	5
	(編集後記)	5

## 1. 第8回研究大会のご案内

日本福祉介護情報学会 第8回研究大会 事務局  
(田園調布学園大学) 村井祐一

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度の学会大会は、2007年12月9日(日)に田園調布学園大学(神奈川県川崎市)において「福祉介護情報の新地平を拓く ～情報提供・開示と選択・活用のフロンティア～」をテーマに開催する予定です。

利用者がより良いサービス(事業者)を適切に選択することを通じて、サービス全体の質的向上を期待したサービスの情報開示の標準化が始まってから1年半が経ちました。このような中、介護の分野だけでなく、他の福祉領域を含めた福祉情報の提供・開示の実践状況の確認と、これからの福祉情報の選択・活用に向けた取り組みの方向性について考えていきたいと思っております。

なお、記念講演は福祉情報化の研究領域を切り拓いた、同志社大学名誉教授の岡本民夫先生にお話しを頂く予定です。また、シンポジウムは福祉情報の開示・発信を行っている行政、出版、NPO(第三者評価や情報発信)、福祉施設、ボランティア(情報提供)などの方々(一部予定)から、それぞれの領域における福祉情報提供の実践状況と課題、そして今後への展開についてお話しを頂き、福祉情報活用のフロンティアを切り拓く一歩にしたいと考えております。

なお、本学での大会開催は第4回研究大会(2003年度)以来の2度目となりますが、前回大会開催後に新校舎やラウンジ(食堂)が完成し、より快適な環境で皆様をお迎えすることができる条件が整っております。多数の会員のお越しをお待ちしております。

### 記

**テーマ** : 福祉介護情報の新地平を拓く ～情報提供・開示と選択・活用のフロンティア～

**開催日時** : 2007年12月9日(日) 10時00分～18時00分(予定)

**会場** : 田園調布学園大学 4号館4階

〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1

(小田急電鉄「新百合ヶ丘駅」下車バス10分)

<http://www.dcu.ac.jp/>

**日程（予定）：※シンポジウムの前に基調報告などが追加される可能性があります。**

09：30～ 受付開始

10：00～12：30 自由研究発表

13：30～13：55 学会総会

14：00～14：40 記念講演（同志社大学名誉教授 岡本民夫先生）

時間未定 基調報告（情報開示から活用に向けて）

14：40～16：40 シンポジウム（情報提供と活用のフロンティア）

シンポジスト：行政、出版、NPO、福祉施設、ボランティア（予定）

テーマ：福祉情報の提供（開示）と活用の実践とこれからについて

18：00～ 懇親会

**主 催：**日本福祉介護情報学会

**大会事務局：**田園調布学園大学 村井祐一研究室

\* 宿泊、チケット等についての斡旋は行っておりません。各自でご手配ください。会場は、小田急電鉄「新百合ヶ丘駅」より徒歩で22分、バスで10分程度です。また、東急田園都市線「たまプラーザ駅」または「あざみ野駅」からのバス（20分弱）もあります。

## 2. 紀要第3号・第4号について

日本福祉介護情報学会理事  
（立命館大学） 生田正幸

たいへんおそくなりましたが、学会研究紀要「福祉情報研究」第3号をお届けします。今号には〔以下敬称略〕、論文として、「社会福祉施設における情報化に関する一考察～特別養護老人ホームにおける情報化過程を事例に～」（小林武生氏・渡辺浩・村井祐一）、「地域福祉システムの全体最適化に関する研究～EA概念の適用から～」（長倉真寿美）、「自己選択が導入された社会福祉における情報の理論」（川森茂樹）、実践報告として「高齢者・在宅介護者を支援するシニアネットの広域連携 ～2つのシニアネット交流実験からの考察～」（平野貴大・近藤則子）を掲載しています。

また、第4号については、昨年11月に京都で開催された第7回研究大会のテーマ「福祉・介護の実践としての情報の活用 ― 記録をめぐる新たな取り組み ―」をタイトルに企画・編集を進めており、3編の投稿論文の査読が進んでいます。また、今年3月に同志社大学を退任された福祉情報論のパイオニア、岡本民夫先生に、巻頭へのご寄稿をいただく予定です。鋭意、作業を進めていますので、どうぞご期待ください。

ところで、すでにご承知かと思いますが、「福祉情報研究」は、投稿論文について査読制度を導入しています。近頃は、研究業績として査読審査された論文を求められることも多くなっていますので、会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしています。

## 3. 学会ホームページ

日本福祉介護情報学会 第8回研究大会 事務局  
（田園調布学園大学） 村井祐一

第8回研究大会の情報をホームページならびに会員メールにて随時ご提供させていただく予定です。参加申込書や自由研究発表申込用紙は学会ホームページにて提供させていただく予定です。

## 4. 2007年度事業計画・予算

日本福祉介護情報学会 事務局

(立教大学) 森本佳樹

日本福祉介護情報学会の「2007年度事業計画」は、以下の通りです。

(★は新規事業)

### 1 学会の運営

- (1) 会員総会の開催  
年に1度、会員総会を実施する(第8回研究大会開催時)
- (2) 理事会の開催  
学会の運営を図るため、年に4回程度理事会を開催する
- (3) 各種委員会活動の充実  
学会の活動の基盤となる各種委員会活動の充実を図る
  - ① 『福祉情報研究』編集委員会の充実
  - ② ホームページ運営委員会の設置
  - ③ ニュースレター編集委員会の設置
- ★④ 「学習会」企画委員会の設置
- (4) 事務局機能の充実
  - ① 会員ニーズに即応できる事務局体制を整備する  
UMINの活用、会員DBの作成
  - ② 事務局機能のアウトソーシングを検討する
- (4) 会員の拡大  
人材と財源を安定確保し、活発な活動を保障するために、会員数の増加を図る

### 2 研究活動の推進

- (1) 研究大会の開催  
田園調布学園大学を会場として第8回研究大会を開催する
- (2) 学習会の開催  
時宜を得たテーマの下に、適宜、学習会を開催する
- (3) 学会紀要『福祉情報研究』の発行準備  
11月末を目途に第4号(2006年度号)を発行する

### 3 広報活動の推進

- (1) ホームページの安定的運営
  - ① ホームページの機能の拡張を図り、安定した運営を行なう
  - ② 適宜、新しい情報の更新を行う
  - ③ 関連ホームページとのリンクを積極的に行う
- (2) ニュースレターの発行  
年に1~3回、ニュースレターを発行する

### 4 他学会・研究団体との連携

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本医療情報学会等との連携を図る

## 2007年度予算

## 《収入の部》

(単位：円)

項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 入会金収入	140,000	140,000	0	
1-1 正会員	30,000	30,000	0	@3,000×10人
1-2 学生会員	10,000	10,000	0	@2,000×5人
1-3 法人会員	100,000	100,000	0	@100,000×1社
1-4 賛助会員	0	0	0	@3,000×0人
2 会費収入	1,190,000	1,190,000	0	
2-1 正会員	630,000	630,000	0	@6,000×105人
2-2 学生会員	60,000	60,000	0	@3,000×20人
2-3 法人会員	500,000	500,000	0	@100,000×5社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
3 参加費収入	50,000	50,000	0	
3-1 参加費収入	50,000	50,000	0	研究会等@2,000×25人
4 雑収入	6,000	1,000	5,000	
4-1 雑収入	6,000	1,000	5,000	預金利子・紀要頒布等
5 繰越金	3,354,000	3,014,000	340,000	
5-1 基本財産繰越金収入	1,054,000	1,014,000	40,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,300,000	2,000,000	300,000	
合計	4,740,000	4,395,000	345,000	

## 《支出の部》

項 目	今年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1 事業費	1,090,000	1,150,000	△ 60,000	
1-1 理事会開催費	350,000	350,000	0	3回分(×3人)旅費等
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	開催校助成
1-3 委員会費(名称変更)	60,000	120,000	△ 60,000	紀要・HP・NL・学習会委員会
1-4 紀要発行費	230,000	230,000	0	通常号1号分(通巻4号)
1-5 学習会開催費	100,000	100,000	0	
2 事務費	200,000	191,000	9,000	
2-1 什器・備品費	20,000	11,000	9,000	事務用品等
2-2 印刷費	80,000	80,000	0	総会資料、入会案内等
2-3 通信費	70,000	70,000	0	ニューズレター発送・事務連絡等
2-4 事務補助員費	30,000	30,000	0	学生バイト費
3 繰越金	1,194,000	1,154,000	40,000	
3-1 基本財産繰越金	1,194,000	1,154,000	40,000	入会金及び入会金繰越充当
3-2 次年度繰越金	0	0	0	
4 予備費	2,256,000	1,900,000	356,000	
合計	4,740,000	4,395,000	345,000	

## 5. 事務局から

日本福祉介護情報学会事務局  
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

### ■会員加入状況 (2007年5月末日現在)

個人会員 119名 / 学生会員 34名 / 法人会員 3法人 (登録4名)

### ■2007年度会費の請求

本年度にご納入いただく会費等の納入依頼を同封してお送りいたしましたので、納入方をお願いいたします。法人会員あてには、請求書式による様式を同封しておりますので、ご確認ください。

なお、銀行送金にあたっては、「送金者名入力」の際、①本封筒の宛名シールや請求書式に記載の「番号」、②会員氏名、の順に入力されるようご協力ください。銀行のシステム統合により、送信者側で、「組織名+氏名」を入力されても、通帳の摘要には(記載文字数が「カナ10字」に制限されたため)組織名の一部しか記載されないため、確認に手間取ることが多くなっていますので、ご協力ください。

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

### (編集後記)

本年度第1号のニュースレターをお届けさせていただきます。編集担当理事の不幸で発送が遅くなりましたこと、深くお詫び申し上げます。また、原稿を作成して下さった理事の皆様には厚く御礼申し上げます。

今年度は、秋・冬にも発刊し、年間3号の体制に戻すつもりでおりますので、関係者の皆様のご協力をいただけますよう、よろしく御願ひ申し上げます。

(岩手県立大学) 小川 晃子